



2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月24日



北越紀州製紙株式会社

■ 決算の概要

- ◆ 売上高は、洋紙市況低迷の影響により国内販売数量・価格が低調であったものの、中国の江門星輝造紙、フランスDumasの増収や、カナダALPACの新規連結（前年度第4四半期より連結）など海外事業が増収を牽引
- ◆ 営業利益は、洋紙の販売価格下落等による影響があったものの、円高を背景とした原燃料コストダウンや、新規連結子会社の寄与などにより増益
- ◆ 経常利益は、営業外収支において円高による外貨建資産の為替差損が発生するも、増益を確保

（単位：百万円）

	2016 / 3期 第2四半期	2017 / 3期 第2四半期	増 減	増 減 率
売 上 高	117,337	132,319	14,981	12.8%
営 業 利 益	3,496	6,187	2,691	77.0%
経 常 利 益	3,778	4,306	527	14.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,262	3,277	1,015	44.9%

2017年3月期 第2四半期 セグメント別(売上高・営業利益)実績



(単位:百万円)

	2016/3期 第2四半期		2017/3期 第2四半期		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率	増減	増減率
紙パルプ事業	103,134	2,712	118,203	5,018	15,069	14.6%	2,305	85.0%
パッケージング・ 紙加工事業	10,380	261	10,433	594	52	0.5%	333	127.7%
その他	3,822	233	3,682	241	▲ 139	▲ 3.7%	8	3.4%
調整額	—	288	—	331	—	—	43	15.1%
合計	117,337	3,496	132,319	6,187	14,981	12.8%	2,691	77.0%

※ 売上高：外部顧客への売上高

2017年3月期 第2四半期 連結販売実績



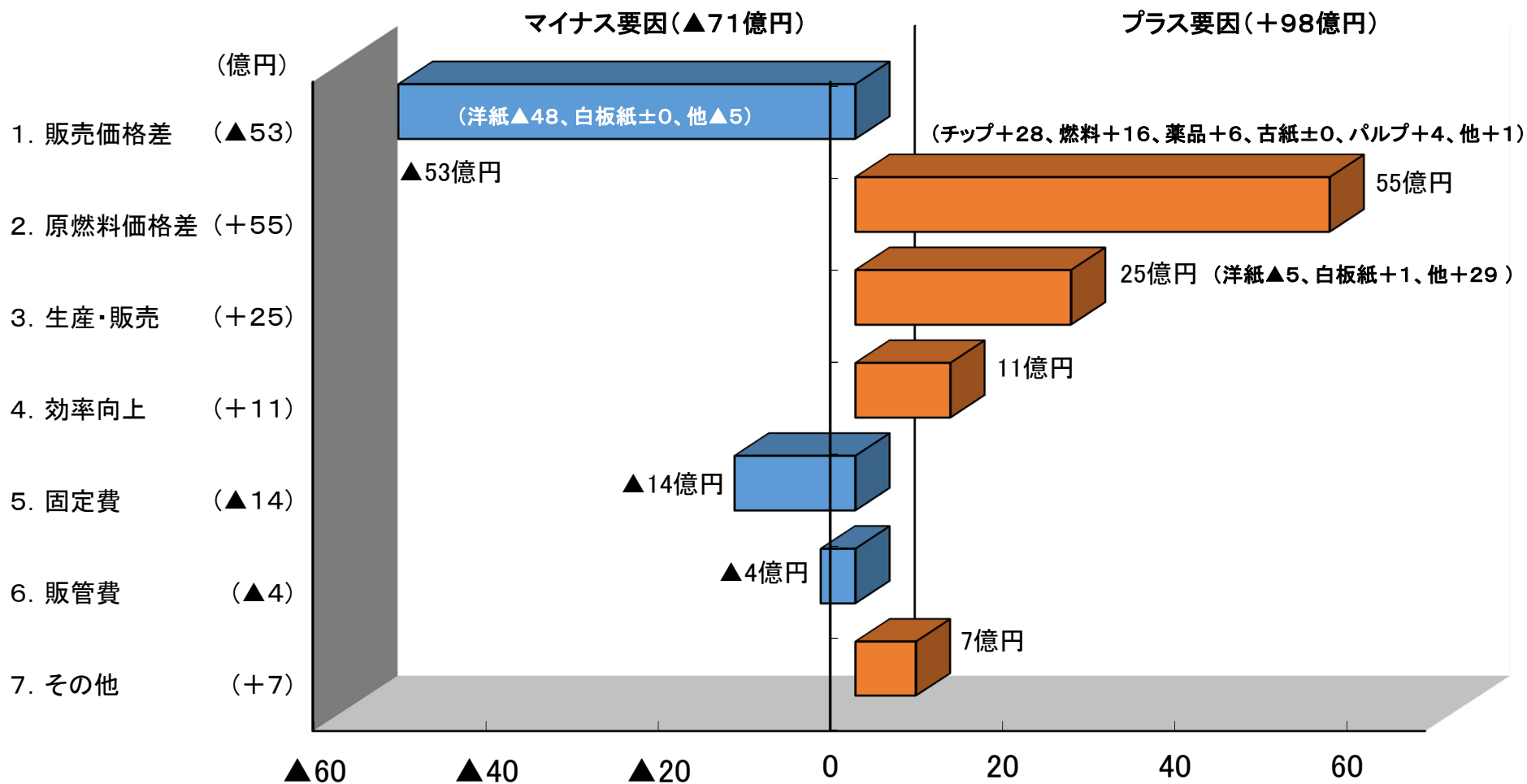
	2016/3期 第2四半期			2017/3期 第2四半期			差異			前年同期差異	
	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額
	千トン	円/kg	百万円	千トン	円/kg	百万円	千トン	円/kg	百万円		
洋紙	686	105.14	72,127	671	98.55	66,095	▲ 15	▲ 6.59	▲ 6,032	▲ 2.2%	▲ 8.4%
板紙	230	89.64	20,617	266	81.23	21,608	36	▲ 8.42	991	15.7%	4.8%
紙計	916	101.25	92,744	937	93.63	87,703	21	▲ 7.62	▲ 5,041	2.3%	▲ 5.4%
紙パルプ事業 その他			10,390			30,500			20,110		193.6%
紙パルプ事業 合計			103,134			118,203			15,069		14.6%
パッケージング・ 紙加工事業			10,380			10,433			52		0.5%
その他			3,822			3,682			▲ 139		▲ 3.7%
合計			117,337			132,319			14,981		12.8%

- ※1. 板紙について、本資料より2016/3期第2四半期、2017/3期第2四半期ともに北越紀州製紙単体に江門星輝造紙を合算した数値としている。従って2016/3期第2四半期の数値について2015年11月25日時点に発表した同資料の数値とは異なっている。
- ※2. 紙パルプ事業その他は報告セグメント：紙パルプ事業の外部顧客への売上高から紙計を差し引いた数値である。
- ※3. パッケージング・紙加工事業及びその他は外部顧客への売上高である。

連結営業利益 対前年増減要因



【2017年3月期第2四半期 62億円 - 2016年3月期第2四半期 35億円 → +27億円】



2017年3月期第2四半期
為替: 105円/\$
ドバイ原油: \$41/bbl

2016年3月期第2四半期
為替: 122円/\$
ドバイ原油: \$57/bbl

差異項目1~6には、北越紀州製紙単体、ALPACおよび江門星輝造紙における差異を含んでおります。従って差異項目7には、それ以外の連結子会社における増減益および連結調整等による影響を表示しております。

連結貸借対照表



(単位: 億円)

	16/3期	16/9期	増減	備考
現預金	191	226	36	
受取手形・電子記録債権・売掛金	661	629	▲ 32	
たな卸資産	469	429	▲ 40	
その他流動資産	76	73	▲ 4	
有形・無形固定資産	1,560	1,491	▲ 69	設備投資67億、減価償却▲98億、外貨建資産評価▲31億、他
投資その他の資産	679	682	4	
資産合計	3,637	3,531	▲ 106	

支払手形・電子記録債務・買掛金	282	252	▲ 29	
有利子負債	1,296	1,239	▲ 56	短借▲45億、CP▲70億、長借▲38億、社債100億、リース▲4億
その他負債	364	338	▲ 26	
負債合計	1,941	1,830	▲ 112	
純資産合計	1,695	1,701	6	為替換算調整勘定▲19億

■ 業績予想の概要

- ◆ 売上高は、上期に引き続き、洋紙の市況低迷による国内減収を想定する一方、輸出拡大及び海外子会社の業容拡大により増収を見込む
- ◆ 営業利益は、前年対比円高原油安による原燃料価格下落、継続的な比例費改善、及び子会社新規連結により増益を見込む

(単位：百万円)

	2016/3期 実績	2017/3期 予想	増減	増減率
売上高	246,849	265,000	18,150	7.4%
営業利益	9,236	10,500	1,263	13.7%
経常利益	10,587	11,000	412	3.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,476	8,000	523	7.0%

2017年3月期 セグメント別(売上高・営業利益)予想



(単位:百万円)

	2016/3期		2017/3期		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	増減	増減率	増減	増減率
紙パルプ事業	218,276	7,319	236,000	8,200	17,723	8.1%	880	12.0%
パッケージング・紙加工事業	20,129	696	21,000	1,300	870	4.3%	603	86.7%
その他	8,443	551	8,000	400	▲ 443	▲ 5.2%	▲ 151	▲ 27.4%
調整額	—	668	—	600	—	—	▲ 68	▲ 10.3%
合計	246,849	9,236	265,000	10,500	18,150	7.4%	1,263	13.7%

※ 売上高：外部顧客への売上高

2017年3月期 連結販売見込み



	2016/3期			2017/3期			差異			前年同期差異	
	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額
	千ト	円/kg	百万円	千ト	円/kg	百万円	千ト	円/kg	百万円		
洋紙	1,379	104.13	143,633	1,404	96.76	135,845	25	▲ 7.37	▲ 7,788	1.8%	▲ 5.4%
板紙	506	85.03	42,992	562	78.94	44,396	57	▲ 6.09	1,404	11.2%	3.3%
紙計	1,885	99.01	186,626	1,966	91.66	180,242	81	▲ 7.34	▲ 6,384	4.3%	▲ 3.4%
紙パルプ事業 その他の			31,650			55,758			24,108		76.2%
紙パルプ事業 合計			218,276			236,000			17,723		8.1%
パッケージング・ 紙加工事業			20,129			21,000			870		4.3%
その他			8,443			8,000			▲ 443		▲ 5.2%
合計			246,849			265,000			18,150		7.4%

※1. 板紙について、本資料より2016/3期、2017/3期ともに北越紀州製紙単体に江門星輝造紙を合算した数値としている。従って2016/3期の数値について2016年5月27日時点に発表した同資料の数値とは異なっている。

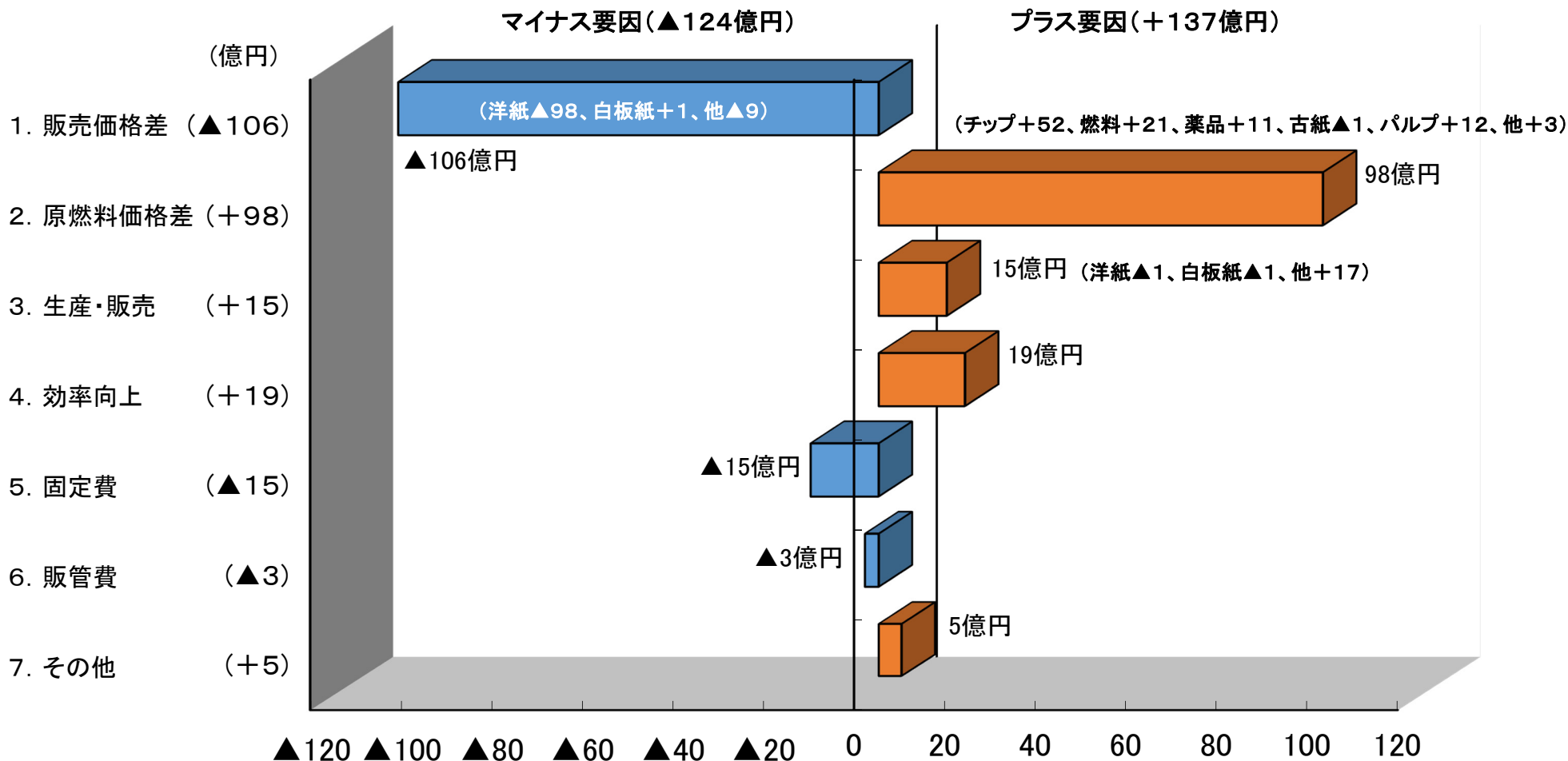
※2. 紙パルプ事業その他は報告セグメント：紙パルプ事業の外部顧客への売上高から紙計を差し引いた数値である。

※3. パッケージング・紙加工事業及びその他は外部顧客への売上高である。

2017年3月期予想 連結営業利益 対前年増減要因



【2017年3月期 105億円 - 2016年3月期 92億円 → +13億円】



2017年3月期
為替: 105円/\$
ドバイ原油: \$45/bbl

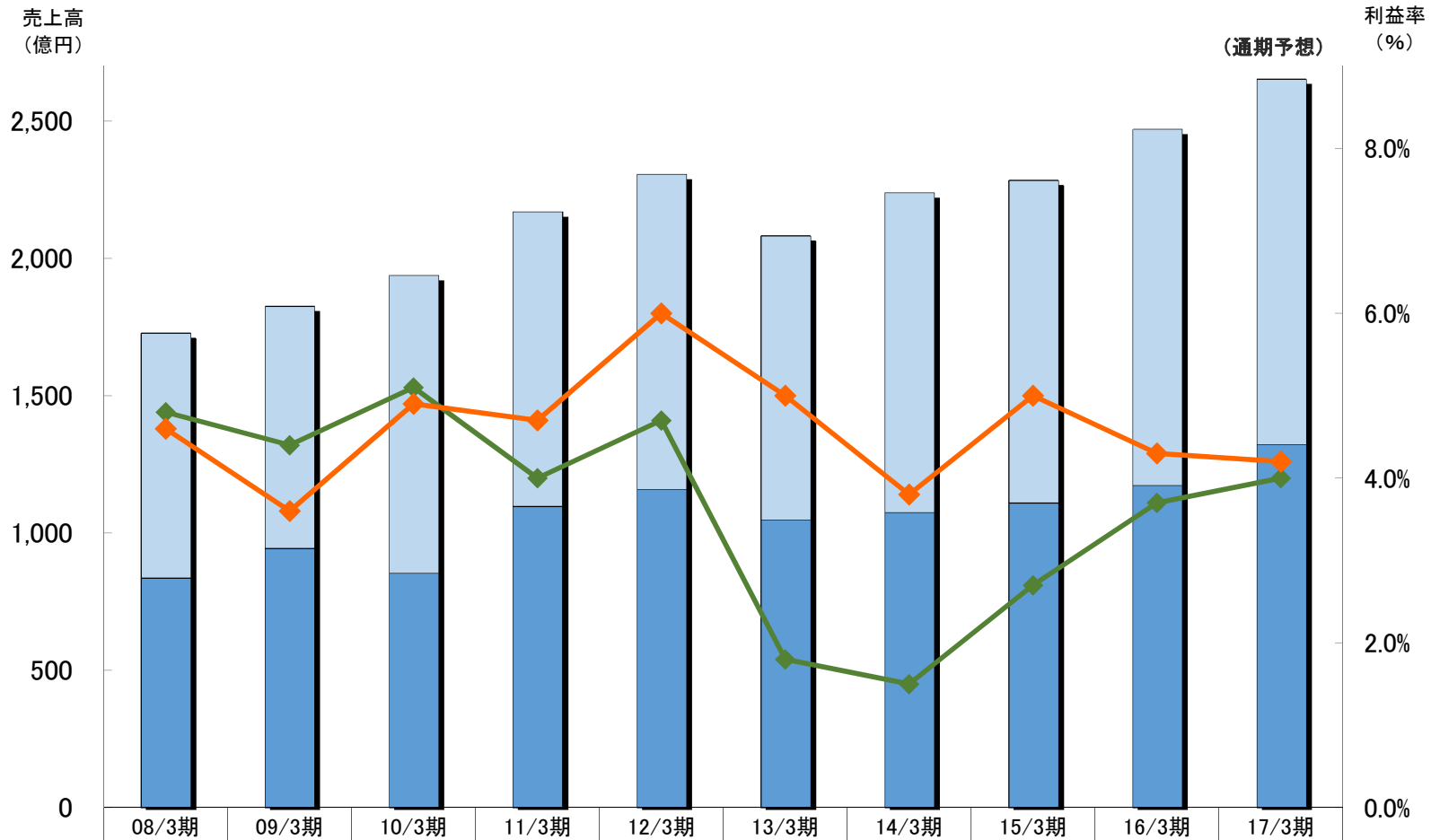
2016年3月期
為替: 120円/\$
ドバイ原油: \$47/bbl

差異項目1~6には、北越紀州製紙単体、ALPACおよび江門星輝造紙における差異を含んでおります。従って差異項目7には、それ以外の連結子会社における増減益および連結調整等による影響を表示しております。

設備投資

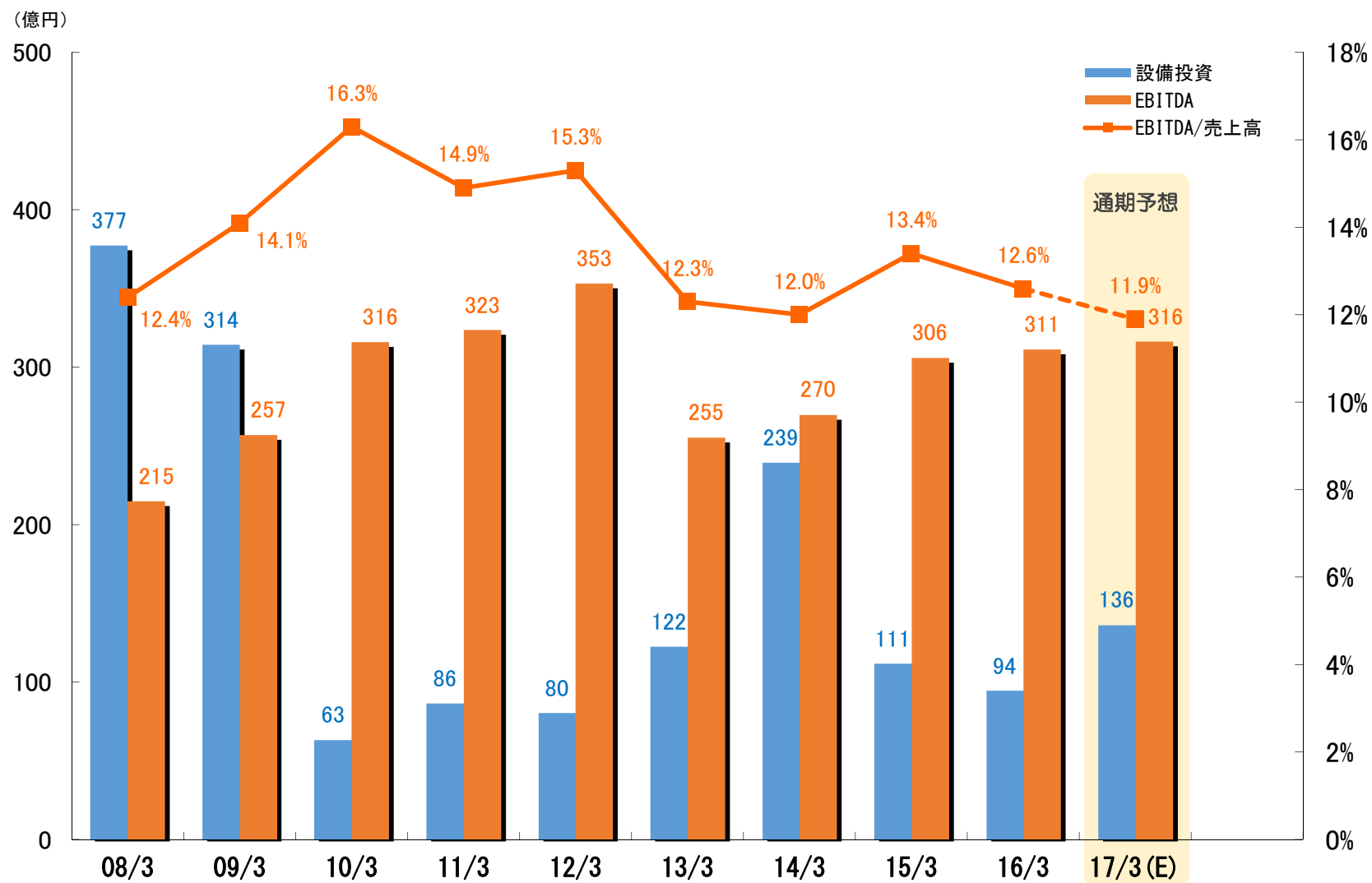
	今年度 投資予定額	完工(予定)
新潟工場 (8号回収ボイラー過熱器管更新工事)	14億円	2016/10
新潟工場 (4号機マシン下パルパー設置工事)	6億円	2017/1
新潟工場 (4号機多様化対応工事)	4億円	2017/1
紀州工場 (バイオマスボイラー1次過熱器管更新)	2億円	2016/8
北越紀州製紙単体 他	70億円	
ALPAC (DCS更新、林道建設 他)	20億円	
江門星輝造紙 (汚泥脱水機増設、全自動リーム包装機新設 他)	2億円	
ビーエフ&パッケージ (ダイカッター更新 他)	4億円	
その他子会社	14億円	
今年度設備投資予定総額	136億円	

連結業績(売上高・利益率)の推移



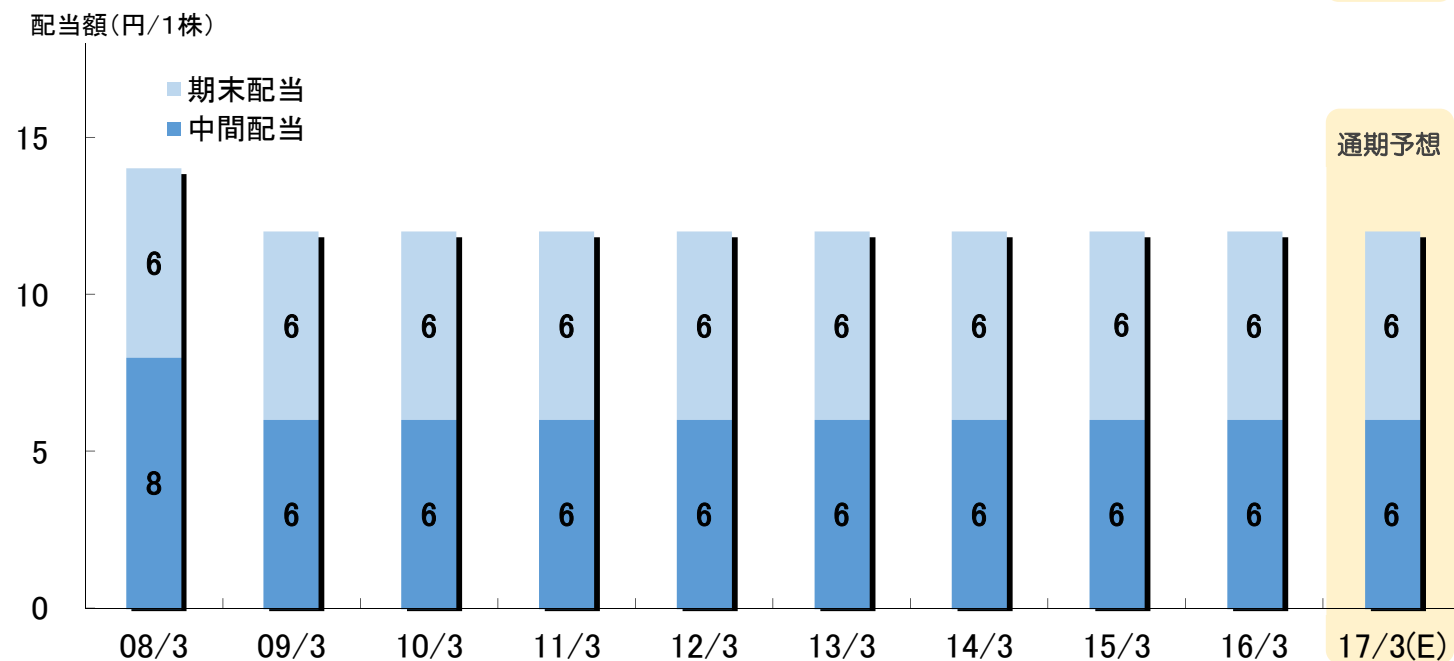
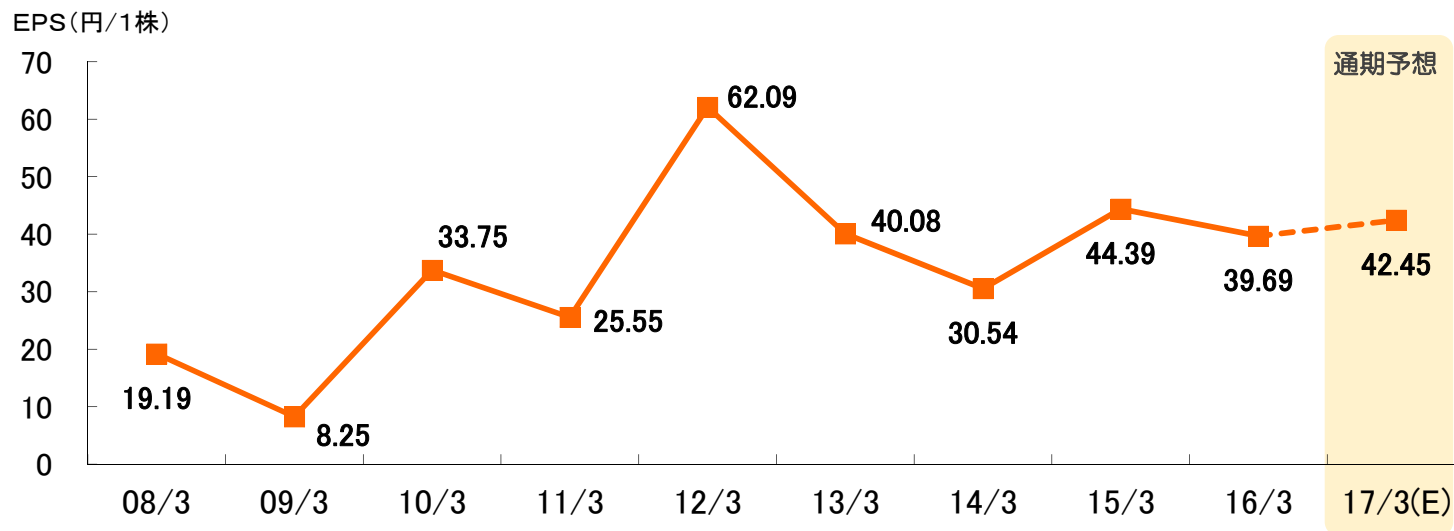
	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期
売上高(下期)	893	883	1,088	1,072	1,147	1,035	1,163	1,174	1,295	1,327
売上高(上期)	834	945	851	1,098	1,159	1,048	1,076	1,110	1,173	1,323
営業利益率(通期)	4.8%	4.4%	5.1%	4.0%	4.7%	1.8%	1.5%	2.7%	3.7%	4.0%
経常利益率(通期)	4.6%	3.6%	4.9%	4.7%	6.0%	5.0%	3.8%	5.0%	4.3%	4.2%

設備投資・EBITDAの推移



EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-負ののれん償却費

利益配当の推移



連結主要指標の推移

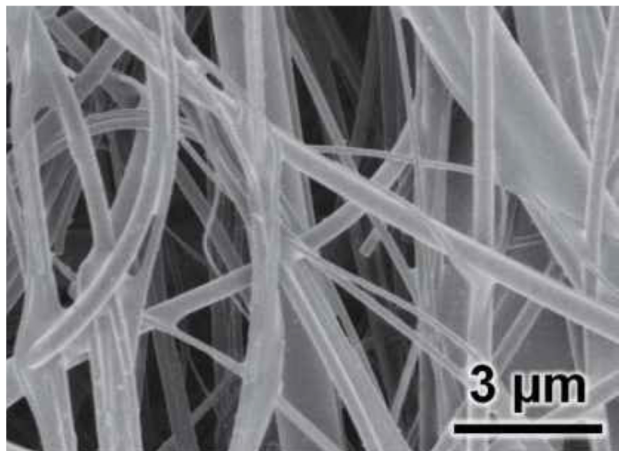


(単位：百万円)

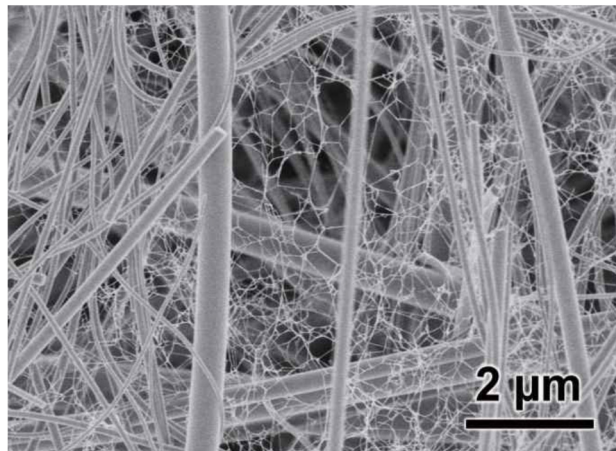
	2008年度 (09/3期)	2009年度 (10/3期)	2010年度 (11/3期)	2011年度 (12/3期)	2012年度 (13/3期)	2013年度 (14/3期)	2014年度 (15/3期)	2015年度 (16/3期)	2016年度 通期予想	2016年度 上期実績
売上高	182,782	193,951	217,013	230,569	208,280	223,864	228,400	246,849	265,000	132,319
営業利益 (営業利益率)	8,122 (4.4%)	9,887 (5.1%)	8,742 (4.0%)	10,823 (4.7%)	3,657 (1.8%)	3,307 (1.5%)	6,139 (2.7%)	9,236 (3.7%)	10,500 (4.0%)	6,187 (4.7%)
経常利益 (経常利益率)	6,593 (3.6%)	9,436 (4.9%)	10,148 (4.7%)	13,780 (6.0%)	10,516 (5.0%)	8,480 (3.8%)	11,462 (5.0%)	10,587 (4.3%)	11,000 (4.2%)	4,306 (3.3%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,750	7,106	5,296	12,673	8,169	6,105	8,359	7,476	8,000	3,277
EPS (円)	8.25	33.75	25.55	62.09	40.08	30.54	44.39	39.69	42.45	17.40
ROE	1.3%	5.2%	3.9%	8.9%	5.4%	3.9%	5.2%	4.5%	4.7%	—
ROA (経常利益)	2.2%	2.9%	3.1%	4.2%	3.1%	2.4%	3.3%	3.0%	3.0%	—
D/Eレシオ	1.02倍	0.99倍	0.88倍	0.79倍	0.82倍	0.87倍	0.74倍	0.77倍	0.69倍	0.73倍
有利子負債	137,060	136,640	121,156	117,144	129,137	136,387	123,724	129,585	120,000	123,948
減価償却費	17,348	21,361	22,496	22,177	19,624	19,070	19,006	19,552	19,900	9,778
EBITDA	25,694	31,579	32,336	35,281	25,537	26,972	30,581	31,122	31,600	14,483

EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-負のれん償却費

■ CNF（セルロースナノファイバー） 高性能エアフィルター濾材の開発



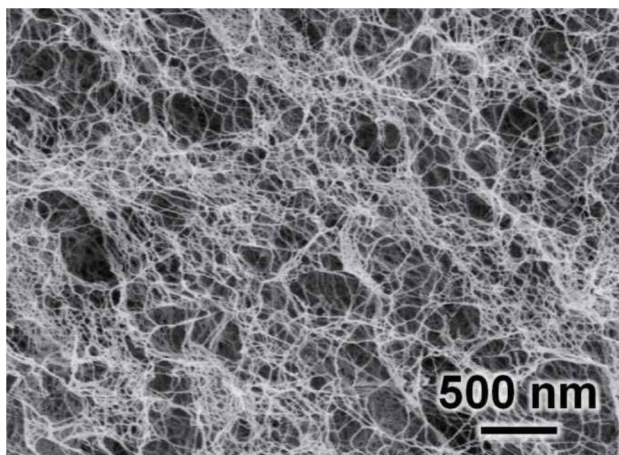
従来品(ガラス繊維)



当社開発品(CNF、ガラス繊維複合フィルタ)

- ◆ ガラス繊維の隙間にCNFをクモの巣状に張り巡らすことに成功。
フィルタ性能を大きく改善して、従来にない省エネ効果や超微細粒子の捕集が期待される。

■ CNF 超低密度多孔質体（エアロゲル）

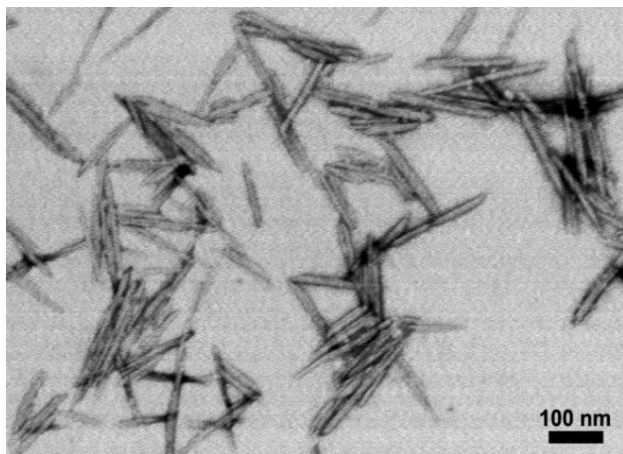


CNF多孔質材料



- ◆ 水に分散した状態のCNFをほぼそのままの状態に取り出すことに成功した3次元的なネットワーク構造を有する高比表面積のスポンジ状繊維質多孔質体「エアロゲル」は、触媒担持体、断熱材、細胞培養基材、吸着材への利用が期待される。

■ ALPAC (カナダ) CNC (セルロースナノクリスタル) の共同開発の進化



CNC

出典: Alberta Innovates



- ◆ 2010年より行われていたカナダ・アルバータ州研究機関とのセルロースナノクリスタルの商用材料共同開発を更に発展させることに合意。

■ Dumas (フランス) ガラス繊維 車載用バッテリーセパレータ



車載用バッテリーセパレータの原紙であるガラス繊維シート



- ◆ デュマ社の車載用バッテリーセパレータのヨーロッパ市場シェアは約65%にまで拡大。昨年、本年と増産対応工事を実施したが、需要に生産が追いつかない状況が続いている。フランスと日本に加えて、現在新たな海外製造拠点を建設すべく検討中。

新潟工場 操業100周年を迎えて



100年前の新潟工場

西 暦	和 暦	トピックス
1914 年	大正 3 年	北越板紙株式会社を設立（新潟工場の前身）
1915 年	大正 4 年	新潟工場が完成
1916 年	大正 5 年	本格的に洋紙の製造を開始
1937 年	昭和 12 年	パルプ製造を開始
1964 年	昭和 39 年	新潟地震により被災、ただちに再建開始
1966 年	昭和 41 年	2号機移設運転再開、3号機新設
1968 年	昭和 43 年	4号機新設（世界で初めての表裏のない板紙抄紙機）
1970 年	昭和 45 年	5号機新設（東洋一の大型上級紙製造マシン：当時）
1986 年	昭和 61 年	6号機新設（世界で初めての本格的A3オンコーターマシン）
1990 年	平成 2 年	7号機新設（世界で初めての本格的A2オンコーターマシン）
1998 年	平成 10 年	8号機新設、日本で初めての本格的ECFパルププラント導入
2008 年	平成 20 年	9号機新設
2016 年	平成 28 年	本格稼働より100年



記念式典・祝賀会（9月）

次の100年に向けて

環境重視の経営の推進

新潟の経済と雇用への貢献

地域に根差した活動の充実

地域と自然と共生し、新潟から世界にはばたく
グローバル・オープンファクトリー



現在の新潟工場

本資料に掲載されている見通し等に関する内容は、決算説明会時点における各種の前提に基づいたものであり、その実現性を保証するものではありません。
また今後の種々の要因により、将来の目標値や施策が異なっていく場合があります。

本資料のお問い合わせ先

北越紀州製紙株式会社 経営戦略室
03-3245-4583